

## 平成 30 年度事業評価の実施方法について

人と防災未来センターの事業評価を実施するにあたり、以下に示す方法により評価を行う。

## 1 評価方法

### 平成 30 年度事業成果等の評価「どれだけ成果を得たか」

- ・事業評価委員会資料として、事務局は「中期計画（平成 30 年度～令和 3 年度）の平成 29 年度における達成状況及び自己点検評価」（資料 2）を作成し、その中で、当該年度内の成果及び、それを踏まえた自己点検評価を行う。
- ・委員会は、評価単位ごとに 4 段階で評価を行う。  
(S：大変評価できる、A：評価できる、B：あまり評価できない、F：評価できない)

※ 設置要綱第 2 条 「事業評価委員会は、…事業の成果等を評価し意見を述べるとともに、助言を行う。」

## 2 評価単位

平成 30 年度 : 分野単位（計 5）

- ・委員会の評価は、各評価単位（下記 5 分野）ごとに行う。

### 【対象分野】（5 分野）

- 展示
- 資料収集・保存
- 実践的な防災研究と若手防災専門家の育成／災害対応の現地支援・現地調査
- 災害対策専門職員の育成
- 交流・ネットワーク

※「災害対応の現地支援・現地調査」は、平成 27 年度事業まで独立して評価していた分野であるが、災害対応の現地支援・現地調査で得られた知見をもとに実践的な防災研究が進められることから、二つの分野を合わせて評価を行うこととした。

## 人と防災未来センター事業評価（年度評価）実施方法

- 1 事業評価委員は、人と防災未来センターによる平成 30 年度の自己点検評価結果を踏まえつつ、評価シートの評価対象事業（5分野）について、4段階の評価基準により評定を行うとともに、自由記述によるコメントを付す。
- 2 事業評価委員会では、各委員からの評価結果をもとに、協議を行う。  
その協議の結果及び評価シートによる評価を勘案の上、対象事業ごとの総合評価を行う。
- 3 事業評価結果については、毎年、事務局においてセンターホームページに掲載し、公表する。

人と防災未来センター 平成 30 年度事業評価 委員評価シート

委員名 \_\_\_\_\_

\* 評価基準 (4 段階評価)

S : 大変評価できる  
 A : 評価できる  
 B : あまり評価できない  
 F : 評価できない

評価単位	評定	委員コメント
展示		
資料収集・保存		
実践的な防災研究と若手防災専門家の育成／災害対応の現地支援・現地調査		
災害対策専門職員の育成		
交流ネットワーク		

■ 送付先 人と防災未来センター 事業部事業課 矢野あて  
 Eメール: yano1@dri.ne.jp FAX 078-262-5082